

キャラクター名
Folklore:Memories No.035

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	電脳幻影/"Folklore:Memories"
	ノイマン			年齢		
オプション			年齢	20歳に達しては見えない	性別	女性
覚醒	無知	衝動	闘争	初期侵食率	36	%
出自	最後の希望	経験	記憶喪失	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	0	1			1	行動値	8
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	8
精神	6	0	0			6	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1	1	調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
Memory.Pray.	射撃	6r+1		(8+5)xn		(条件:マイナー使用 侵食値8 C値10 コントロールソート+マルチウェポンLv7+ヴァリアブルウェポンLv6)
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
思い出の品	
フォークロア共振 (相当:情報巡回チーム)	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
記憶の中の唄/??? (超血統)	P 執着	N 隔意		
ムネーモシュネー	P 暖色	N 不安		
預言者 (オラクル)	P 有為	N 嫌気		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コントロールソート (射撃)	1	2	メジャー	-	自信	対抗	-	
効果: 射撃を【精神】で振る								
マルチウェポン	7	3	メジャー	武器	-	対抗	-	
効果: 2個の武器同時装備 攻撃力5-Lv (最低0)								
ヴァリアブルウェポン	5	3	メジャー	武器	-	自動	Limit	
効果: 1+Lv個の武器装備								
テイクオーバー	1	2	オート		単体	自動	-	
効果: エフェクトの侵食値を肩代わり								
零距离射撃	1	2	メジャー		-	対抗	-	
効果: 射程を至近に変更。ダイス+Lv個								
オリジン:サイバー	5	2	マイナー		自身	自動	-	
効果: 【社会】判定の達成値+[Lv*2]								
ヒューマンネイバー	1	-	常時		自身	自動	-	
効果: 衝動判定のダイス+Lv個 基本侵食値+5								
妨害排除	2	3	オート	視界	単体	自動		
効果:								
完全演技	★							
効果: その起源からメモリーズはみな僅かな情報から対象の望む存在を模倣できる。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

SNSで実やかに囁かれている《メモリーズ》と呼ばれるフォークロア。それはある日突然亡くなった人が親しい人の目の前に現れるというものだ。この近年発生している蘇りとも呼べる現象、その正体はレネゲイドウィルス感染者が死者を想う強い思念と、ネット上に渦巻く黄泉がえり伝承への熱を媒介に受肉し生まれたRBだ。

死者と同じ姿形で生まれ落ち、同じ声で話す、殆どの記憶を持たない存在。けれど、ごく稀に発生のきっかけとなったような強烈な記憶を断片的に有してる。構造としては人間を再現しているので思考や感覚は人間の構造を取る、オリジナルが死亡している点を除けば極めて判別が難しく、《メモリーズ》の受肉はそのほとんどが蘇生を願ったものの目の前で受肉するため、遺族が《メモリーズ》を亡くなった本人として受け入れてしまい、UGN側でも補足できていないケースが相当数いると思われる。

《メモリーズ》は一人の例外もなくその存在を願われて生まれてくる。No.035を我々が発見し、協力関係を築けた最大の理由は、彼女の黄泉がえりを望んだ人間が居なかったことだろう。No.35を保護した区域では原因不明の大震災が発生した直後で、非常に稀有な事例だが彼女を創造した《親》もオリジナルも既に亡くなってた為と思われる。多くのメモリーズは記憶が無くても生まれた瞬間に誰として生きていけばいいか、その蘇生を願った相手に抱きしめられ、名前を呼ばれて自覚する。